

平成28年度

静岡県包装研究会

●開催日時：平成28年11月11日(金) 13:30～16:30
●会場：JR静岡駅ビル パルシェ7F 貸会議室第2・3

●主催：公益社団法人日本包装技術協会(JPI)

JPIでは、各地域の会員ニーズに応えるべく、静岡県におかれましても年1回包装研究会を開催し、多くの地元会員企業の皆様にお集まり頂き好評頂いております。
本年度は第1部に「紙・板紙の製造 基礎から最新事例まで」をテーマに、第2部では「落下試験高さ」が及ぼすコストと環境への影響」をテーマに開催させていただきます。
この機会に、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

講演プログラム

時間	講演内容
13:30 14:50	<p>テ ー マ：「紙・板紙の製造 基礎から最新事例まで」</p> <p>講 師：静岡県紙パルプ技術協会 技術等アドバイザー 久保田 道孝 氏</p> <p>講演内容：紙・板紙の製造や抄紙、構造、物性についての基礎から最新事例までについて取り上げたい。簡単な紙の歴史、紙の原材料、木材パルプと古紙パルプの製造方法、調成、抄造、塗工、仕上げまでの紙の製造工程についてお話しし、また製品としての紙の独特の不均一構造から生み出される様々な特性についても触れていきたい。</p>
15:00 16:30	<p>テ ー マ：「落下試験高さ」が及ぼすコストと環境への影響」</p> <p>講 師：オリンパス(株) SCM本部 物流推進部 企画・管理グループ 包装技術チーム 課長 藤井 幸則 氏</p> <p>講演内容：包装貨物試験法を設定する場合、製品の種類、輸送経路や輸送機関などのシステム条件に合わせて最適なものを選択しなければなりません。これに伴い、落下試験条件設定後の品質予測(落下発生確率)は言うまでもありませんが、コスト予測も重要な位置をします。</p> <p>今回は海外の主要な落下試験規格とJIS落下試験規格を用いて、具体的な製品モデルを例にして緩衝包装設計を行い、コスト(包装材料費と国際輸送費)および環境負荷(主に輸送のCO₂)がどのような結果になるかを試算してご説明します。最後に、コスト視点と包装適正化視点から落下試験法設定に際しての考察を述べさせていただきます。</p>

開催要領

- 日 時：平成28年11月11日(金) 13:30～16:30
- 会 場：JR静岡駅ビル パルシェ7F 貸会議室第2・3
静岡市葵区黒金町49番地 TEL.054-252-1071
*(右案内図参照)
- 参加料：(公社)日本包装技術協会の会員の方：無料
(一社)静岡県紙パルプ技術協会の会員の方：無料
一般の方：一講演につき3,240円(税込)
- 定 員：80名 下記申込書に記入いただきFAXにてお送り下さい。
お断りする場合のみご連絡します。
当方より連絡がない場合は直接会場にご来場下さい。



お問合せ・お申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 静岡県包装研究会係 担当：佐藤
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03-3543-1189・FAX. 03-3543-8970
e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「平成28年度静岡県包装研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

平成28年度静岡県包装研究会 申込み用紙 担当:佐藤(FAX.03-3543-8970) No. _____

会社名							
所在地	(〒)						
電 話					FAX		
参加者	氏名				所属 役職	e-mail	
	氏名				所属 役職	e-mail	
	氏名				所属 役職	e-mail	
(該当する方に○をつけて下さい) (公社)日本包装技術協会会員 ・ (一社)静岡県紙パルプ技術協会会員 ・ 一般							